

情報基礎実習 第4回

2014年5月15日(木)、5月16日(金)

担当教員：逸村裕、高久雅生

TF：池田光雪

今回の内容

- 筑波大学附属図書館 WWW (Tulips) を使う
- CiNii Books や国立国会図書館サーチといったサービスを使う
- 情報源の記述の仕方 (SIST02) を学ぶ

【出席確認課題】

1. 練習問題 1~7 を各自で進め、Lab2014-1.docx に各回答を記載せよ
➤ 課題名は 第4回出席課題 とする
2. A4 片面 1 枚に収まるように印刷し、**10:10 までに**提出せよ。すべて終わらせなくてもよいので提出は必ず期限内にすること

練習問題 1

図書と雑誌についてそれぞれの定義、及び英語では何と呼ぶかを記せ。

練習問題 2

図書館情報学においてアクセスポイントとは何かを述べよ。

練習問題 3

Tulips で逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で文献リストを作成せよ。

練習問題 4

1. 逸村裕, 竹内比呂也. 変わりゆく大学図書館. 東京, 勁草書房, 2005, 232p. の ISBN を記せ
2. この図書をそれぞれ単独で発見可能なアクセスポイントの名称を全て答えよ

練習問題 5

1. Google で逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で文献リストを作成せよ
2. 1. と練習問題 4 の結果を比較し、わかったこと、気が付いたことなどを述べよ

練習問題 6

- (1) 次に示した a~d の手法を用いて逸村裕が著者の図書を探し、SIST02 形式で網羅的な文献リストを作成せよ
 - a. e-hon、Books.or.jp、HonyaClub、Amazon.co.jp
 - b. Tulips
 - c. CiNii Books
 - d. 国立国会図書館サーチ
- (2) (1)で作成したリスト内の図書それぞれについて、上記 a~d の手法で発見ができたかをまとめよ。なお、(1)と(2)は項目を分けず、表などにまとめて記述しても構わない。

練習問題 7

雑誌『NLL review』を所蔵している図書館数とその館名、及びその最新の継続後誌（現在も刊行されている雑誌）を現在継続して所蔵している館名を列記せよ。

今回のレポート課題

- 締め切り
 - 木曜クラス：5月21日（水）15:00
 - 金曜クラス：5月22日（木）15:00
- 内容
課題 い〜りへの回答を記せ
- 提出先
春日エリア 7B 棟 2 階 学務前レポートボックス
- 書式
Lab2014-1.docx を適宜書き換えて使用し、1 ページ枚で A4 片面印刷。複数枚になる場合はステイプラー（針無しは不可）で左上 1 箇所を綴じること
- 備考
 - これまでのテキストや演習中、返却レポート内などで指示・指摘された細かいレポートの書式（ページ番号の付与や使用フォントなど）は全て遵守すること。既に周知した書式を満足していなかった場合は減点の対象となる
 - 提出後におけるいかなるレポートの差し替えも認めない
 - レポート中のあらゆる箇所において手書きは不可とする
 - 提出先を間違った場合、原則として採点の対象外とする
 - 課題名はふさわしいものを各自で考案し記述すること
 - 文献リストや書誌を作れ、あるいは記せなどとある場合は必ず **SIST02 形式**で記述すること

課題 い

次の著者のうち 1 人を選び、その人物が著者の、出版年が 2000 年以降の図書（編者や翻者の場合は除き、編著は含む）の網羅的な文献リストを作成せよ。ただし、下記(1)〜(6)の順で取り組むこと。なお、共著者がいる場合は「緑川信之ほか」のように省略せず、全員を列記せよ。

- 緑川信之（筑波大学）
- 根本彰（東京大学）
- 上田修一（慶應義塾大学）

- (1) 選んだ人物は誰か答えよ
- (2) どのような手順で探索するか、探索前の時点で思いつく手順を詳細に記せ
- (3) 選んだ人物が著者の、出版年が 2000 年以降の図書（編者や翻者の場合は除き、編著は含む。）の網羅的な文献リストを作成せよ
- (4) (3)で作成した文献リスト内の図書全てについて、Amazon.co.jp(マーケットプレイスを含む)、e-hon それぞれにデータが存在するかどうか、存在する場合はレポート執筆時点で購入が可能かどうかを記せ。なお、(3)、(4)、(5)は項目を分けず、表などにまとめて記述しても構わない
- (5) (3)で作成した文献リスト内の図書それぞれについて筑波大学が所蔵しているかどうかを調べ、もし所蔵しているならばその所蔵館と請求記号を記せ。複数館が所蔵している場合は全ての館について記述せよ
- (6) 網羅的な文献リスト作成にあたり、実際に取った手順を記せ。また、もし(2)では書いてあるが実際には行わなかった手法があればその理由も述べよ

課題 ろ

雑誌『The Serials librarian : the quarterly journal of serials management』を現在も継続して所蔵している全大学図書館の正式名称を列記せよ。

課題 は

雑誌『Collection management : a quarterly journal devoted to the management of library collections』を現在も継続して所蔵している全大学図書館の正式名称を記せ。

課題 に

1970年から2000年まで刊行されていた雑誌『Journal of the American Society for Information Science』の継続前誌名と、現在の誌名を記せ。

課題 ほ

雑誌『情報の科学と技術 = The journal of Information Science and Technology Association』の前誌名を記せ。

課題 へ

練習問題4の回答を記せ。

課題 と

自身の学籍番号を確認し、(0)～(9)のうち対応した設問に答えよ。

全ての問題は図書館（図書館情報学図書館、あるいは中央図書館）に行き実際に図書を手に取らないと回答することができないが、情報基礎実習受講者は館内利用のみでこれらの設問に取り組み、内容に興味を惹かれても5月中は借りないこと。また館内利用をする場合は、利用が終わり次第すみやかに元の棚に戻すこと。

万が一課題に必要な図書が貸し出し中などで利用できない場合は、そのことを明記した上で別の設問から好きなものを選択し、回答しても構わない。なお、余力があれば自身に対応した設問以外に取り組んでも構わない（不備が無かった場合加点対象とする）。

(0) 学籍番号末尾が0の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1990、2000、2010年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 電子図書館. 岩波書店, 1994. の書誌を記せ
- D) C)の図書 第7章のタイトルを記せ
- E) C)の図書 第7章の内容について、この本が1994年に出版されたということを考慮しつつ、その内容を2014年の現状と知っている/調べた範囲で照らし合わせ、コメント・感想を書け

(1) 学籍番号末尾が1の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1991、2001、2011年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 図書館・情報学のための調査研究法. 勁草書房, 1986. の書誌を記せ
- D) C)の図書の著者を全て列記せよ
- E) C)の図書のp.139—142で述べられている表の作成する際の一般的な注意点を箇条書きせよ。また、これらについて自身が情報基礎実習第3回のレポートなどで達成できていたかどうか、今後すべきかどうかなどについて検討・記述せよ

(2) 学籍番号末尾が2の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1992、2002、2012年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) ハリス、マイケル H. 図書館の社会理論. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.138で取り上げられている「図書館学の古典」の書誌を作成せよ
- E) D)の直系の弟子とされる人物の業績について、この本の著者が興味を惹いたとしている2つの点をまとめよ

(3) 学籍番号末尾が3の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1983、1993、2003年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 根本彰. 続・情報基盤としての図書館. 2004. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.111で根本が類推している、市政図書室が実際に受ける質問の年間での累計数を記せ
- E) C)の図書の第4章2節 図書室の概要 のp.101部分を参考に、そこで取り上げている図書室の資料数やその種類、運営体制などをまとめよ

(4) 学籍番号末尾が4の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1984、1994、2004年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 三田図書館・情報学会編. 図書館・情報学研究入門. 2005. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.13から始まる記事の表題と著者名を記せ
- E) C)の図書のp.13から始まる記事で著者が述べている、情報学分野の研究が貢献できる可能性が高いとしているものと、その説明をまとめよ

(5) 学籍番号末尾が5の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1985、1995、2005年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 図書館・情報学概論. 第2版, 1990. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.51で説明されているlawについて、書かれている日本語訳を記せ
- E) 学会の役割とその収入源について、C)の図書の2章2節3項 情報の流通と情報機関の役割 (b)を参考にまとめよ

(6) 学籍番号末尾が6の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1986、1996、2006年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 目録の歴史. 勁草書房, 1985. の書誌を記せ
- D) C)の図書の4章3節1項のタイトルを答えよ

E) D)の事柄について、その一般原則3項をまとめよ

(7) 学籍番号末尾が7の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1987、1997、2007年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 原田勝. 未来の図書館. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.6で取り上げられている「われわれの考えること」の著者名と原題を記せ
- E) 「われわれの考えること」で提案されている未来の装置について、その装置の名前を答え、その機能をC)の図書のp.6—8の内容を参考にしてまとめよ

(8) 学籍番号末尾が8の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1988、1998、2008年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 緑川信之. 情報検索演習. 新訂, 2004. の書誌を記せ
- D) C)の図書 第3章のタイトルとその著者を記せ
- E) C)の図書 第3章1節で挙げられている6つのシステムについて、2014年現在でも同名称のシステムが存在するか、現在では停止したシステムのうち、後継のシステムがあればその名称、有料システムであれば、筑波大学が契約しているか（Tulipsから利用可能か）どうかをまとめよ。また、有料のシステムをどれか1つ利用しその感想を記せ。なお、筑波大学が契約しているシステム・データベースの一覧はTulipsでデータベースリストとして公開されている。

(9) 学籍番号末尾が9の学生

- A) 『日本の図書館：統計と名簿』の1989、1999、2009年版における筑波大学と、任意の別大学1校の蔵書冊数（和、洋、合計数）などのデータを記せ
- B) A)で調べたデータと、同大学図書館がネット上で公開しているデータを比較すると何が言えるかを考察せよ
- C) 情報研究への道. 勁草書房, 1989. の書誌を記せ
- D) C)の図書のp.27で、「アレキサンドリア図書館の時代以来に記録された知識」について、ケネスポールディングは「人類の冒険の『何』」と言っているかを記せ
- E) C)の図書のp.27以降で述べられている「図書館学の二つの流れ」とは何かをまとめよ

課題ち

このレポートをやってみた感想とコメントを記せ。また、もしあれば今後の授業への要望を記せ。

課題り

このレポートを作成するのにかかった時間を記せ（ただし、授業時間は除くものとする）。